

奈良の魅力を探る 月刊「大和路 ならら」

○鋭い視点で歴史と文化を紐解く特集

○魅力の連載記事/奈良・大和路の知られざる魅力を的確に伝え、より深く知ることのできる連載記事を掲載。
奈良県の文化・観光情報誌として親しまれております。

今号の連載記事「やまとの古道・街道あるき記」
「幕末・明治維新の吉野山」

----修験道復興に一石を投じた松浦武四郎---
明治の神仏判然令により廃止となった修験道。今回は修験道復興を応援した松浦武四郎と近代に流行った川上村から吉野へ川つたいに歩くルートについて紹介している。

松浦武四郎は「北海道」の名付け親で北海道を旅しアイヌの人と交流し北海道の地名の多くを提案した。吉野ともつながりがあり彼が歩いた道の紹介をする

江戸時代末期から神仏分離が叫ばれ、明治に入って廃仏毀釈が巻きあがり、吉野は修験道廃止令が出され深刻なダメージを受けた。金峯山寺では本堂の蔵王権現が板張りや白布で隠され、仁王門からは仁王像が撤去された。

大峯奥駈道は人の踏み入れもなく荒れ果てていた。十津川では、道標にはお地藏さまや観音さまが刻まれているからと取壊し標石がなくなり旅人は困っていたほどだった。

明治13年(1880)吉野山を訪れ大峯奥駈を歩き改めて修験道の復興に努めた

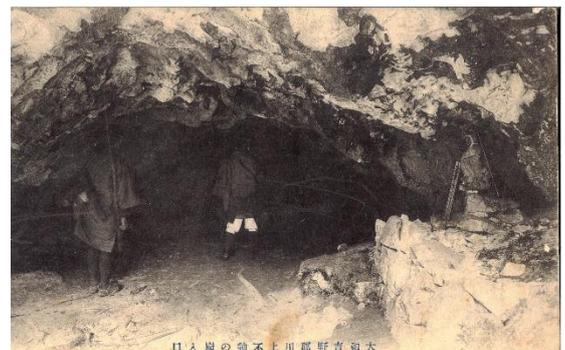
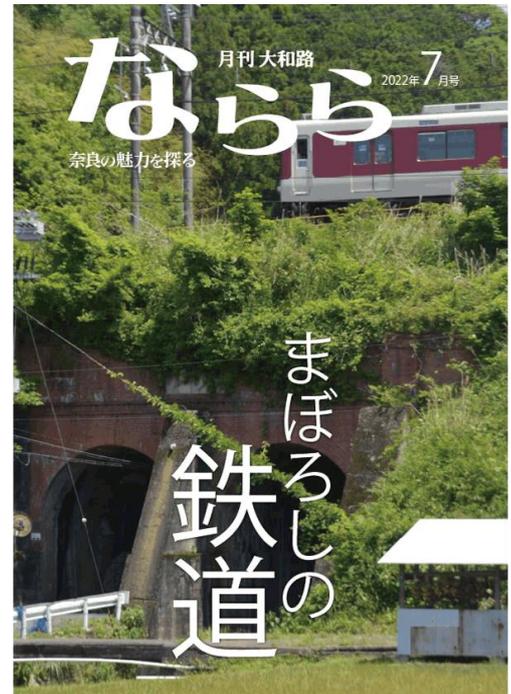
○
松浦武四郎の吉野山から大台ヶ原への探索コース

愛染⇒大滝⇒迫⇒

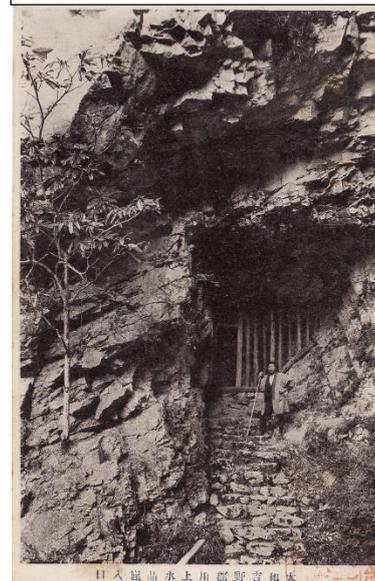
水晶窟(大台ヶ原に行く途中で探索)(右写真)

⇒中寺山金剛寺⇒

不動窟(裏行場の一つで武四郎は洞内に入り胎内くぐりや不動滝や三途川を体験)(現在、県指定の鍾乳洞 右写真)⇒伯母峯



吉野郡川上不動窟の入口



吉野郡川上水晶窟入口

写真提供
成瀬匡章氏

写真は
明治40年
～大正7年
頃の絵葉書